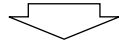


保健指導階層化の流れ

「健診結果」および「問診」により
対象者を判定



保健指導の対象者がリスク要因の数によって
三つの支援レベルに分類されます。

新しく実施される健康診断では、治療が必要と判断されなくても、「生活習慣病の発症危険度」を三段階に分類し、受診者のレベルに応じて、生活習慣指導などを行うこととなります。

